



# リリースノート

バージョン 2.0.1.0 (ファームウェア) – 2012/01/30 公開

- ※ wivia は、株式会社内田洋行の日本における登録商標です。
- ※ Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の米国及びその他の国における登録商標です。
- ※ Apple、Mac、Mac OS は、米国 Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ※ その他システム名、プログラム名などは、一般に各社の登録商標です。

## ■ 概要

wivia ファームウェア バージョン 2.0.1.0 では、バージョン 2.0.0.0 におけるいくつかの不具合の修正および品質の改善を実施いたしました。本アップデートには品質における重要な更新が含まれます。wivia 本体のバージョンが 2.0.0.0 以上のすべての方に対し、本ファームウェアによるアップデートの実施を強く推奨いたします。

本ファームウェアは、バージョン 2.0.0.0 以上の wivia 本体が適用の対象となります。バージョン 1.0.0.0 以上 2.0.0.0 未満の wivia 本体は、本ファームウェアの適用の対象外となります。

本ファームウェアは、wivia サポート Web サイトから入手いただけます。ファームウェアのアップデート方法については、wivia サポート Web サイトで入手いただけます『wivia 取扱説明書』をご覧ください。

(wivia サポート Web サイト <http://www.uchida.co.jp/wivia/index.html>)

## ■ 動作要件

wivia ファームウェア バージョン 2.0.1.0 に対応する wivia ソフトウェアは以下のとおりです。

- Windows 用
  - wivia ソフトウェア バージョン 1.2.1.0 (一部の機能はご利用いただけません)
  - wivia ソフトウェア バージョン 2.0.1.0 (推奨) / 2.0.0.0
- Mac 用<sup>i</sup>
  - wivia ソフトウェア バージョン 1.2.1.0 (一部の機能はご利用いただけません)
  - wivia ソフトウェア バージョン 2.0.1.0 (推奨) / 2.0.0.0
- Windows Mobile 用
  - MobiShow 1.2.3.6

各 wivia ソフトウェアの動作要件および入手方法につきましては、wivia サポート Web サイトをご参照ください。wivia サポート Web サイトにて公開しております上記以外の wivia に付随するソフトウェアも、wivia ファームウェア バージョン 2.0.1.0 にて引き続きご利用いただけます。

(wivia サポート Web サイト <http://www.uchida.co.jp/wivia/index.html>)

---

<sup>i</sup> Mac OS X 10.7 は、Mac 用 wivia ソフトウェア 2.0.1.0 以上での対応となります。

## ■ 機能の追加、変更、および削除

wivia ファームウェア バージョン 2.0.1.0 では、以下の機能の変更を行いました。

1. wivia 本体の『無線 LAN』を『無効』に設定した際の wivia 本体の無線 LAN に関する動作を変更し、無線 LAN 設定が無効時における wivia 本体からの電波の放出を抑制しました。
2. 一部の NTP サーバから時刻を取得できない問題に対応しました。この問題には Windows Server 2003/2008 が提供する Windows Time サービス（NTP サーバ機能）が含まれます。

## ■ 不具合の修正および品質の改善

wivia ファームウェア バージョン 2.0.1.0 では以下の重要な不具合が修正されました。

1. wivia ソフトウェアから wivia 本体へ特定の手順を実施した場合に、wivia 本体の映像出力が黒画面になり、アプリケーションから検索できなくなる、または wivia 本体にて強制的に再起動が発生する問題を修正しました。
2. wivia 本体の『日付と時刻の設定』を『SNTP/NTP サーバと同期』に、『端末のリフレッシュ（再起動）』を『時刻で設定』に設定しているとき、wivia 本体にて SNTP/NTP での時刻の取得に失敗すると、予期しないタイミングで wivia 本体がリフレッシュ（再起動）する問題を修正しました。
3. wivia 本体の『IP の設定』を『以下の IP アドレスを使用する』に設定しているときに、SNTP/NTP サーバ名をホスト名で記述すると時刻の取得に失敗する問題を修正しました。

その他、幾つかの不具合を修正しました。

## ■ 既知の問題

wivia ファームウェア バージョン 2.0.1.0 にて新たに追加される既知の問題はありません。

過去の既知の問題、および新たに報告された問題は以下のとおりです。

1. 本リリースノートに記載しているものより過去のバージョンの Windows、Mac、および Windows Mobile 用 wivia ソフトウェアは、本リリースの wivia ファームウェアとは一定の互換性がありますが、すべての機能および性能の互換性を保証するものではありません。本リリースの wivia ソフトウェア、およびファームウェアをご利用ください。

2. Windows 用 wivia ソフトウェアの画面投影モードの変更には、wivia ソフトウェアの再起動が必要です。設定変更後に再起動を促すメッセージが表示されますが、ここでキャンセルすると wivia ソフトウェアは再起動されず、投影モードの設定変更は適用されません。設定の変更は wivia ソフトウェアの再起動後に正しく適用されます。
3. セキュリティソフトウェアなどにより、USB メモリーへのアクセスがブロックされることがあります。この場合、USB メモリーから wivia ソフトウェアを利用することはできません。セキュリティソフトウェアのセキュリティレベルを低く設定するか、システム管理者にお問い合わせください。
4. 一部のポップアップ画像などは wivia 本体に正しく投影されないことがあります。Windows 用 wivia ソフトウェアの場合は、投影の設定で DirectX 投影モードに設定することで投影できる場合があります。
5. 一部の CAD ソフトウェアのような OpenGL を多用するソフトウェアや、DirectX を多用するソフトウェアと wivia の画面投影機能との併用ができないことがあります。Windows 用 wivia ソフトウェアの場合は、投影の設定で DirectX 投影モードに設定することで投影できる場合があります。
6. Windows XP SP2, SP3 および Windows Vista SP0, 1 で Windows 用 wivia ソフトウェアをご利用頂く場合、IP アドレスを直接指定して同時に発見できる wivia 本体は 10 台までに制限されます。上記 Windows にてご利用いただき、かつ IP アドレスを直接指定して 10 台を超える wivia を同時に発見する必要がある場合は、弊社または販売代理店までお問い合わせください。
7. 一部のシンククライアント環境では wivia を正しく動作させることができず、シンククライアント環境に深刻な影響を与える場合があります。シンククライアント環境にて wivia をご利用頂く場合は、弊社または販売代理店までお問い合わせください。

## ■ 関連する資料

wivia 本体、および wivia ソフトウェアの詳細な使い方については、『wivia 取扱説明書』をご覧ください。『wivia 取扱説明書』は wivia サポート Web サイトから入手いただけます。